



9  
藤川

9

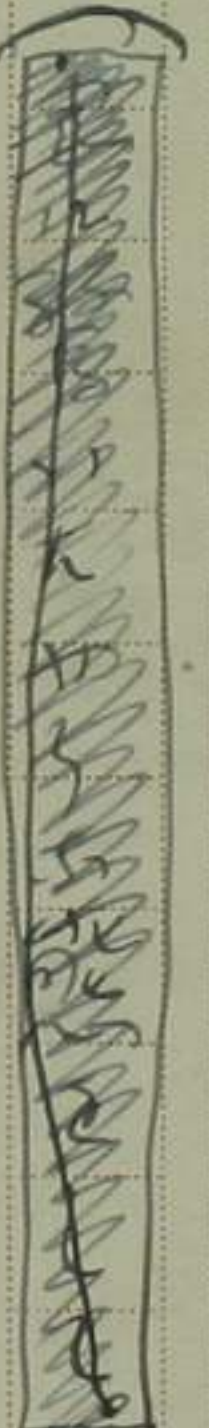
さんでせうね。お金たけは五百円を餘計に取  
つて置いと。

女勝川ついでにたき、下手より及置場。女勝川  
は自転車（目印）を持ってのる。中折帽、天然馬絨

のズボン、短靴。玄關の横にて奥の方を偷  
見しおふが何か（目印）たきに耳打ちする。

たきは玄關のうしろへ、女勝川は庭先へ。

女勝川



ひとく駭息

お、えして物ざとらしい女の方を（先生さへ今  
日は……おかわる名に経儀いたやうお能くしして

たいつれの御（小窓）おびこさいませ。それは大（大い）

でこがいらす。あたくしのお挨拶りしよ  
せう。つ縁（縁）側へ上りとする。  
いな

光子



注射しりしたのさたいてい

こわいいう（おた）すし（やま）静の（やま）とせよ

女勝川

左様でございませうか。それはお苦しみで

光子

今日は普請場の方から？

女勝川

はいはい、瀧の御普請場を見

てまいらした。奥さま、そりやまこの瀧に

そ風多にどの御普請かというて、村の

MARUZEN I

（目印）

